

Untitled

DERWENT-ACC-NO: 2001-142477

DERWENT-WEEK: 200115

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: washing stand for infants, has metal plate with downward facing U-shaped portion at both sides for hanging at edges of filth sink and central concave portion inserted into sink supports infant

PATENT-ASSIGNEE: SAKIHAMA H[SAKII]

PRIORITY-DATA: 1999JP-0166073 (June 11, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	
MAIN-IPC				
JP 2000350668 A	December 19, 2000	N/A	005	A47K
003/12				

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2000350668A	N/A	1999JP-0166073	June 11, 1999

INT-CL (IPC): A47K003/12

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2000350668A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Downward facing U-shaped portions (7,8) are formed on both right and left sides of a metal plate to form a central concave portion. U-shaped portions are hung to left and right edges (2,3) of filth sink (1) and concave portion is inserted into filth sink. Infant is placed in the concave portion.

USE - Used for cleaning of buttocks, etc., of infants in e.g. infant nursery.

ADVANTAGE - Infant can be safely cleaned with minimum effort.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows isometric view of washing stand for infant.

Filth sink 1

Edges 2,3

U-shaped portions 7,8

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/5

TITLE-TERMS: WASHING STAND INFANT METAL PLATE DOWN FACE SHAPE PORTION SIDE HANG
EDGE SINK CENTRAL CONCAVE PORTION INSERT SINK SUPPORT INFANT

DERWENT-CLASS: P28

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-104150

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-350668

(P2000-350668A)

(43) 公開日 平成12年12月19日 (2000. 12. 19)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

キーワード* (参考)

A 4 7 K 3/12

A 4 7 K 3/12

2 D 0 3 2

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平11-166073

(22) 出願日 平成11年6月11日 (1999. 6. 11)

(71) 出願人 599081392

崎濱 秀章

沖縄県沖縄市大里1-3-4 大里ハイツ

B-31

(72) 発明者 崎濱 秀章

沖縄県沖縄市大里1-3-4 大里ハイツ

B-31

(74) 代理人 100076082

弁理士 福島 康文

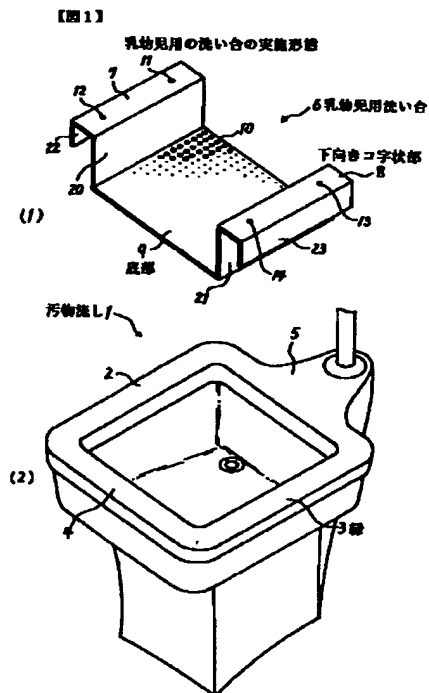
Fターム (参考) 2D032 DA00

(54) 【発明の名称】 乳幼児用の洗い台

(57) 【要約】

【課題】 保育園などにおいて、乳幼児が排便したりした後、臀部などを洗浄するのに適する乳幼児用の洗い台に関し、一人でも、容易に、しかも安全に乳幼児の洗浄作業を可能にする。

【解決手段】 金属板などによって形成され、汚物流しの左右両縁2、3に引っかける下向きコ字状部7、8を左右に有し、両下向きコ字状部7、8の間の部分は、汚物流しの中に入るように凹状になっており、該凹状部の底板9に乳幼児が立った状態で洗浄する。前記の凹状部の底板9に、滑り止めのために、多数の孔10が開けてあり、下向きコ字状部7、8に、乳幼児がつかまる手すりを着脱できる構造になっている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 金属板などによって形成され、汚物流しの左右両縁に引っかける下向きコ字状部を左右に有し、両下向きコ字状部の間の部分は、汚物流しの中に入るように凹状になっており、該凹状部の底板に乳幼児が立てるようにになっていることを特徴とする乳幼児用の洗い台。

【請求項2】 前記の凹状部の底板に、滑りにくいように、多数の孔が開けてあることを特徴とする請求項1記載の乳幼児用の洗い台。

【請求項3】 前記の少なくとも片方の下向きコ字状部に、乳幼児がつかまる手すりを着脱できる構造になっていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の乳幼児用の洗い台。

【請求項4】 金属板などによって形成され、左右に下向きコ字状部を有し、両下向きコ字状部の間の部分が汚物流しの中に入るように凹状になっている乳幼児用の洗い台を用い、

汚物流しの左右両縁に、前記の左右の下向きコ字状部を引っ掛け、両下向きコ字状部の間の凹状部の底板に乳幼児が立てるようにしたことを特徴とする乳幼児用の洗い台。

【請求項5】 金属板などによって形成され、左右に下向きコ字状部を有し、両下向きコ字状部の間の部分が汚物流しの中に入るように凹状になっている乳幼児用の洗い台を用い、

汚物流しの左右両縁に、前記の左右の下向きコ字状部を引っかけた状態で、両下向きコ字状部の間の凹状部の底板に乳幼児を立たせた状態で、乳幼児の洗浄を行なうことを特徴とする乳幼児の洗浄方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、保育園などにおいて、乳幼児が排便したりした後に臀部などを洗浄するのに適する乳幼児用の洗い台に関する。

【0002】

【従来の技術と発明が解決しようとする課題】乳幼児の保育園において、乳幼児が排便したりした後の臀部の洗浄は、汚物流しの上で、乳幼児を抱き抱えた状態で、シャワーを用いたりして行なっている。この作業は、一人では困難な場合が多く、また重労働となる。そのため、二人がかりで行なうことになるが、人手を要し、人件費の負担増大となる。

【0003】本発明の技術的課題は、このような問題に着目し、一人でも、容易に、しかも安全に乳幼児の洗浄作業を可能にすることにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の技術的課題は次のような手段によって解決される。請求項1は、金属板などによって形成され、汚物流しの左右両縁に引っかけ

る下向きコ字状部を左右に有し、両下向きコ字状部の間の部分は、汚物流しの中に入るように凹状になっており、該凹状部の底板に乳幼児が立てるようにになっている乳幼児用の洗い台である。

【0005】このように、左右に形成した下向きコ字状部の間の部分が、汚物流しの中に入るように凹状になっており、該凹状部の底板に乳幼児が立てる構造になっているので、左右の下向きコ字状部を汚物流しの左右の縁に被せて引っかけることで、凹状部の底板の上に乳幼児を立たせて臀部などの洗浄作業を行なうことができる。その結果、作業が容易で、楽に、安全かつ安心して作業できる。

【0006】請求項2は、請求項1記載の凹状部の底板が、滑りにくいように、多数の孔が開けてある乳幼児用の洗い台である。このように、凹状部の底板に多数の孔が開けてあるので、排水が円滑になるだけでなく、乳幼児の足が滑りにくく、安心して洗浄作業ができる。

【0007】請求項3は、請求項1または請求項2に記載の少なくとも片方の下向きコ字状部に、乳幼児がつかまる手すりを着脱できる構造になっている乳幼児用の洗い台である。したがって、乳幼児用洗い台の左側あるいは右側に、乳幼児がつかまる手すりを取り付けることで、乳幼児が手すりにつかまることができるので、より安全となり、安心して洗浄作業ができる。

【0008】請求項4は、金属板などによって形成され、左右に下向きコ字状部を有し、両下向きコ字状部の間の部分が汚物流しの中に入るように凹状になっている乳幼児用の洗い台を用い、汚物流しの左右両縁に、前記の左右の下向きコ字状部を引っ掛け、両下向きコ字状部の間の凹状部の底板に乳幼児が立てるようにした乳幼児用の洗い台である。

【0009】このように、請求項1ないし請求項3に記載のような乳幼児用の洗い台が、汚物流しの左右の縁を利用して装着されているので、汚物流しの中の凹状部の底板に乳幼児を立たせて洗浄作業ができ、安心して、かつ一人でも楽に作業できる。

【0010】請求項5は、金属板などによって形成され、左右に下向きコ字状部を有し、両下向きコ字状部の間の部分が汚物流しの中に沈むように凹状になっている乳幼児用の洗い台を用い、汚物流しの左右両縁に、前記の左右の下向きコ字状部を引っかけた状態で、両下向きコ字状部の間の凹状部の底板に乳幼児を立たせて、乳幼児の洗浄を行なうことを特徴とする乳幼児用の洗浄方法である。

【0011】このように、汚物流しの中の凹状部の底板に乳幼児を立たせて、臀部などの洗浄作業を行なえるため、作業が楽で、作業能率が向上するので、一人でも楽に作業できる。

【0012】以上のように、本発明によると、汚物流しの開口の中に乳幼児用の洗い台を挿入しセットするた

め、乳幼児の洗浄に使用しない場合でも常時、この乳幼児用洗い台をセットしておく、汚物流し中の水面より上側で蓋をされることになり、大人の目の届かない間に乳幼児が汚物流しに転落して溺死するなどの事故を未然に防ぐこともできる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に本発明による乳幼児用の洗い台が実際上どのように具体化されるか実施形態を説明する。図1は本発明による乳幼児用の洗い台の実施形態を示す斜視図である。

【0014】1は汚物流しであり、通常は、あるレベルまで水が溜まるようになっており、水が溜まった状態で、おむつを洗ったりした後、溜まっている水を流すような使い方がされる。

【0015】通常の汚物流しは、左右の縁2、3と手前の縁4と後方の縁5によって四角形に形成されている。

【0016】6は本発明による乳幼児用の洗い台であり、左端には、前記の左側の縁2に被せて引っかける下向きコ字状部7を有し、右端には、前記の右側の縁3に被せて引っかける下向きコ字状部8を有している。

【0017】左右の下向きコ字状部7と8との間の部分は、凹状に窪んでいる。この凹状部の底板9には、滑り防止のために多数の孔10が開けてある。この乳幼児用洗い台6の凹状部は、汚物流し1の開口よりわずかに小さい寸法となっている。

【0018】図2はこの乳幼児用の洗い台6の詳細を示す図で、(1)は平面図、(2)は正面図である。凹状部の底板9は、汚物流し1の中に入るように、左右方向の寸法が約40cm、前後方向の幅が約30cmである。また、底板9の深さ、すなわち下向きコ字状部7、8の上面から底板9までの深さは、約13cmである。

【0019】下向きコ字状部7、8の幅は、汚物流し1の左右の縁2、3の幅よりわずかに大きい程度であり、例えば約6cmである。

【0020】この乳幼児用洗い台6の使用に際しては、図3のように、左側の下向きコ字状部7を汚物流し1の左側の縁2の上に被せ、また右側の下向きコ字状部8を汚物流し1の右側の縁3の上に被せることで、汚物流し1の左右の縁2、3に下向きコ字状部7、8を引っかける。

【0021】その結果、凹状部が汚物流し1の開口の中に入り、凹状部の底板9の上に、乳幼児が立つことができる。したがって、汚物流し1の中の底板9の上に乳幼児を立たせた状態で、乳幼児の臀部などを洗浄でき、洗浄作業が楽になり、しかも一人でも可能となる。

【0022】汚物流し1の中において、底板9が左右の縁2、3より深いため、乳幼児の足が汚物流し1の外側に踏み外して落下したりするのを防止できるほか、洗浄水が汚物流し1の外側に跳ね出すのを抑制できる。

【0023】左右の下向きコ字状部7、8の水平面に

は、手すりを取り付ける孔11、12、13、14が開けてある。図4は、手すり付きの乳幼児用の洗い台であり、左側の下向きコ字状部7に、下向きコ字状の手すり15を取り付け固定してあり、右側の下向きコ字状部8に、下向きコ字状の手すり16をそれぞれ取り付け固定してある。

【0024】したがって、乳幼児の臀部などを洗浄する際に、乳幼児が手すり15または16に捕まった状態で、洗浄作業ができ、乳幼児にとって安全であり、安心して洗浄作業できる。なお、汚物流し1と周辺の構造によつては、どちらか片方だけに手すりを設けてもよい。

【0025】下向きコ字状の手すり15、16と下向きコ字状部7、8との連結固定は、溶接やカシメなどによつて一体構造にしてもよいが、着脱構造でもよい。

【0026】図5は手すりと下向きコ字状部7(8)との着脱構造である。図示の手すりは、ステンレス製の丸パイプからなっており、下向きコ字状の両足Lの下端の内部にナット17を挿入して、溶接し一体化してある。なお、両足Lの下端に直接メネジを形成してもよい。

【0027】18はゴム製の円形のパッキンであり、その中央の孔からボルト19を挿通し、さらに前記下向きコ字状部7(8)の手すり取り付け孔11、12、13、14に挿通した後、前記足Lの下端内部のナット17に螺合させることで、手すり15、16と下向きコ字状部7、8とを連結固定する。

【0028】このように、手すり15、16と乳幼児用の洗い台とが着脱構造になっていると、現場の状況に応じて、好みの位置に、手すりを連結して使用できる。

【0029】手すり15、16の両足Lは、下向きコ字状部7、8の両側板に着脱する構造も可能である。例えば、下向きコ字状部7、8の内側壁20、21に、両足L、Lを挿入できる袋状部を二つ形成しておき、その中に、両足L、Lを挿入して使用する。なお、下向きコ字状部7、8の外側の立ち下がり板22、23を利用して、二つの袋状部を形成してもよい。

【0030】図示例では、手すり15、16の高さは、底板9から約45cmの寸法になっており、幅は約20cmになっている。

【0031】乳幼児用の洗い台1は、板厚2mm程度の鉄板やステンレス板などが適している。滑り防止の孔10は、約2cm程度のピッチで、約1cm程度の孔を無数に開けるのがよいが、ピッチや孔径は適宜選択できる。なお、下向きコ字状部7、8の内側壁20、21にも孔10を開けると、強度が低下するだけでなく、乳幼児が指を入れたりする危険がある。

【0032】

【発明の効果】請求項1によると、左右に形成した下向きコ字状部の間の部分が、汚物流しの中に入るように凹状になっており、該凹状部の底板に乳幼児が立てる構造になっているので、左右の下向きコ字状部を汚物流しの

左右の縁に被せて引っかけることで、凹状部の底板の上に乳幼児を立たせて臀部などの洗浄作業を行なうことができる。その結果、作業が容易で、楽に、安全かつ安心して作業できる。

【0033】請求項2によると、凹状部の底板に多数の孔が開けてあるので、排水が円滑になるだけでなく、乳幼児の足が滑りにくく、安心して洗浄作業ができる。

【0034】請求項3によると、乳幼児用洗い台の左側あるいは右側に、乳幼児がつかまる手すりを取り付けることで、乳幼児が手すりにつかまることができるので、より安全となり、安心して洗浄作業ができる。

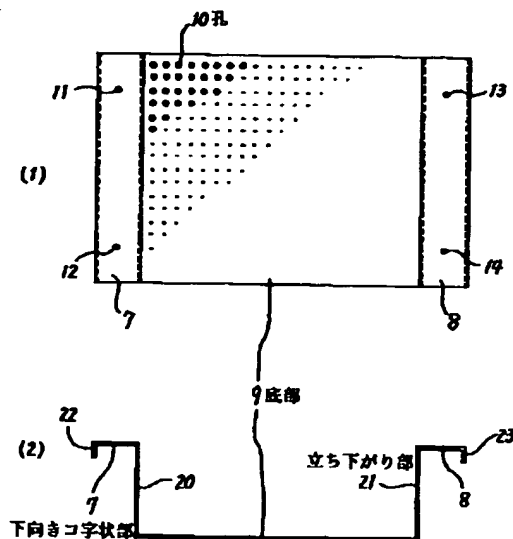
【0035】請求項4によると、請求項1ないし請求項3に記載のような乳幼児用の洗い台が、汚物流しの左右の縁を利用して装着されているので、汚物流しの中の凹状部の底板に乳幼児を立たせて洗浄作業ができ、安心して、かつ一人でも楽に作業できる。

【0036】請求項5の方法によると、汚物流しの中の凹状部の底板に乳幼児を立たせて、臀部などの洗浄作業を行なえるため、作業が楽で、作業能率が向上するので、一人でも楽に作業できる。

【0037】以上のように、本発明によると、汚物流しの開口の中に乳幼児用の洗い台を挿入しセットするため、乳幼児の洗浄に使用しない場合でも常時、この乳幼児用洗い台をセットしておくと、汚物流し中の水面より上側で蓋をされることになり、大人の目の届かない間に乳幼児が汚物流しに転落して溺死するなどの事故を未然に防ぐこともできる。

【図2】

乳幼児用の洗い台の詳細



【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明による乳幼児用の洗い台の実施形態を示す斜視図である。

【図2】 乳幼児用の洗い台の詳細を示す図で、(1)は平面図、(2)は正面図である。

【図3】 乳幼児用の洗い台を汚物流しにセットした状態の斜視図である。

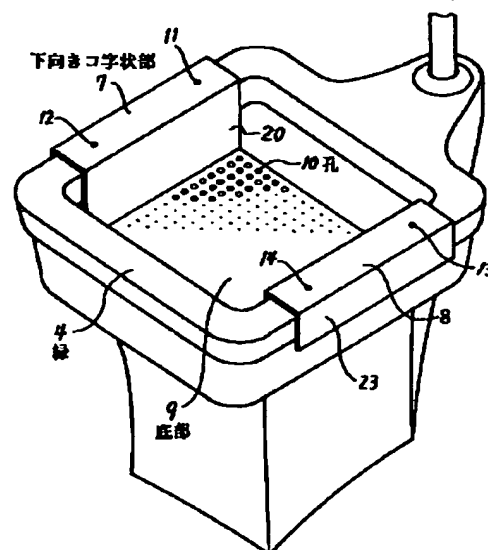
【図4】 手すり付きの乳幼児用の洗い台の斜視図である。

10 【図5】 手すりと下向きコ字状部との着脱構造の実施形態を示す図である。

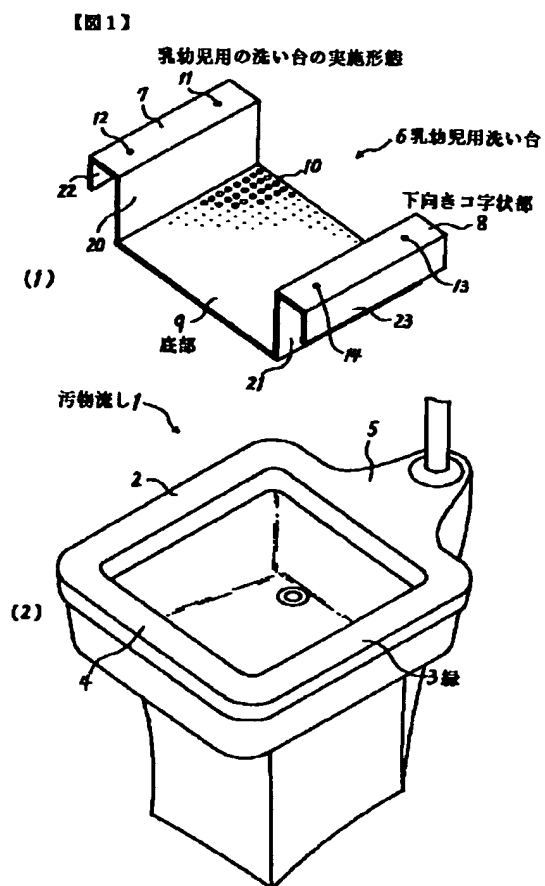
【符号の説明】

- 1 汚物流し
- 2 左の縁
- 3 右の縁
- 6 乳幼児用の洗い台
- 7 左側の下向きコ字状部
- 8 右側の下向きコ字状部
- 9 底板
- 20 10 孔
- 11、12、13、14 手すり取り付け孔
- 15 左側の手すり
- 16 右側の手すり
- 18 ゴムパッキン
- 20、21 内側壁
- 22、23 外側の立ち下がり板

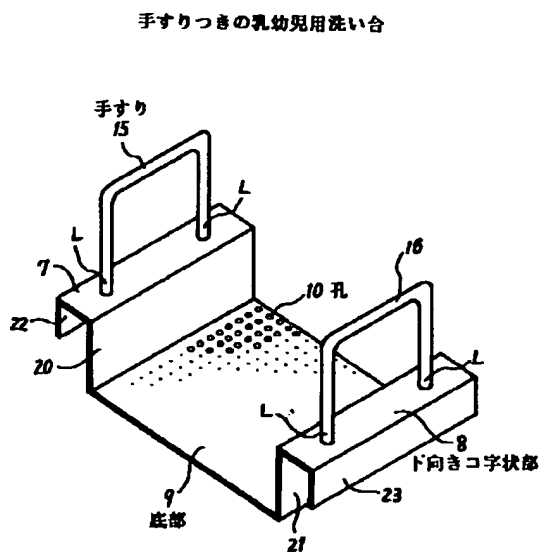
【図3】

乳幼児用洗い台を汚物流し
にセットした状態

【図1】



【図4】



【図5】

